

3/1 (火) ワンダーぶんこによる 6年生を送る会

6年生を送る会は、泗水東小学校で開かれ、児童43人が参加しました。同校で読み聞かせボランティアをしているワンダーぶんこ（内野さと恵代表）が開催したものです。「花さき山」の読み聞かせに合わせ、オカリナの演奏なども披露されました。「12の贈り物」を朗読した後、「出会いを大切に、友達を大切に、一歩前へ進んでください」など、一人ずつ子どもたちへお祝いの言葉を贈りました。



12の贈り物を朗読するワンダーぶんこ

2/26 (土) 第23回泗水町 少年剣道大会

第23回泗水町少年剣道大会は、泗水武道館で行われました。泗水町内の小・中学校から54人の選手が参加。団体戦と個人戦で、熱戦が繰り広げられました。2チームに分かれて団体戦が行われたほか、個人戦では応援に駆けつけた保護者から大きな声援が送られました。上位の結果は次のとおりです。

小学3年以下 工藤宙尊、**小学4年** 前田真人、**小学5年** 久川礼就、**小学6年** 佐々木結斗、**中学生（男子）** 山本冬弥、**中学生（女子）** 中山絢心



入賞した子どもたち

2/24 (木) STAVi試乗会が開かれました

STAViの体験試乗会は、市役所正面玄関で開かれ、福村市長や福祉施設職員などが試乗しました。STAViとは、(株)サンワハイテックが開発した室内用新型電動カートで、約8時間の充電で10kmを走行することが可能です。手元にあるスティック操作のみで、前進・後進・方向転換などが行えます。座席の高さを変更できるため、足腰への負担が伴う体重移動を抑え、座る・降りるという動作を介護者の手助けなく行うこともできます。



STAViを試乗する福村市長

2/24 (木) 傾聴ボランティア 事例検討会

傾聴ボランティアの事例検討会は、中央公民館で開かれ、ボランティア講習の受講生25人が参加しました。実際にあった事例をもとに、グループに分かれて話し合いを行いました。講師を務めた特定非営利法人シニアサポートキーステーション協会の菊池美保子理事長は、「傾聴とは、よく聞いて、相手と良い関係を結ぶためにするもの。楽しい時間を共有することを忘れないで」などとアドバイスしました。



事例をもとに話し合う参加者

3/25 (金)～3/27 (日) 泗水中男子バレー部 九州大会出場!

第28回九州中学校バレーボール選抜優勝大会が、県立総合体育館で開催され、熊本県代表として泗水中学校男子バレーボール部が出場しました。出場した監督・選手は次のとおりです。

監督 須上弘一、橋本知子 **コーチ** 中山敬太 **2年生** 福島 黎、岡 周平、岡村魁人、岡島大貴、益田佳拓、堀江大成、米本健太 **1年生** 郷原廣也、高山 駿、緒方彩季、岩本航大、岩本 航、小山雅樹、富田友樹、日高 巧、武藤翔太



出場した監督・選手

3/17 (木) 日本一のカスミソウを 子どもたちへ

JA 菊池菊池中央支所花き部会は、菊池地域の小学校9校へカスミソウの花束を届けました。本市のカスミソウは日本一と言われており、トルコギキョウも熊本県は全国2位の生産量を誇ります。隈府小学校を訪れた岩木博文部会長は「地元で日本一のものであると子どもたちに知ってほしい」と、カスミソウとトルコギキョウの花束を恵濃裕司校長へ手渡しました。恵濃校長は、「ぜひ卒業式で飾らせてもらいます」と話しました。



花束を手渡す岩木部会長（右）

2/25 (金) 菊池北小学校で ウェルカム・フレンズデー

外国人と子どもたちが触れ合う国際交流会（ウェルカム・フレンズデー）が、菊池北小学校で開催されました。交流会には、市内外から外国人A L T 6人が参加し、市役所で国際観光マネージャーとして勤務する韓国人の金相廷さんも招かれました。一緒に英語を使ったゲームを楽しんだほか、3・4年生のクラスでは英語を使ってゲストに菊池を紹介しました。同校は、市内で唯一文部科学省から国際理解活動推進事業の拠点校として指定を受けています。



1・2年生とJanken Train（じゃんけん列車）を楽しみました

2/25 (金) 琴演奏と合唱で 老人ホームを慰問しました

泗水中学校の3年生18人は、介護老人保健施設孔子の里を訪れ、入所者たちに琴の演奏と合唱を披露しました。選択教科で音楽を選択している生徒たちが毎年開いているもので、今年で5回目となります。当日は、「ひなまつり」「さくら」「うさぎ」「千の風になって」の4曲が披露されました。入所者たちは琴の演奏と合唱に聴き入り、涙ぐんだり、口ずさむ人もいました。



全員で千の風になってを合唱しました